

# かえる便り 29年度27号

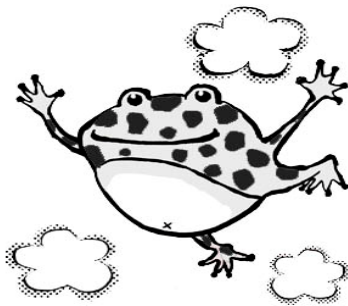
平成29年12月22日

初冬の候、皆様にはご健勝にてお過ごしのことと存じます。

竹がしなやかで強いのは“節”があるからですね!! 私達の人生にも“節目”があります。その節目をどのように乗り越えるかで人生が変わると思いませんか? 学校生活においても学期の始まりと終わり、定期試験や卒業といった節目があります。日々の授業や部活に対する取り組み方によって、逞しさや粘り強さ、信頼度といった人物の力量が変わります。それが試験や試合といった重要な節目にでます。

## 『人は心ほどの世を経る』

「人はその人の心がけ次第で、それに相応しい人生を送るようになる」という意味です。試験や試合は社会人が直面する困難に比べれば楽なものです。何故なら、怠けても自分の人生に影響があるだけだからです。大人が怠けたらどうなるかを考えて欲しいものです。例えば、親が食事を作らなければ…、働かなかつたら…、君たちに影響はありませんか? 責任と義務を果たす大人になって欲しいから叱るのです。



日本には四季があり、学校には学期があり、1年が流れていきます。今年を振り返って、自分が立てた目標を80%以上達成できた人はいらっしゃいますか? サッカーはチームスポーツです。仮に数名の人が自分の目標を達成したとしても、他の人が自分を伸ばすことが出来なかつたらチーム目標はどうでしょうか? 本当の志を持っている人が少ないと…?

自分の可能性を自ら閉ざし、限界を簡単に決める人がいます。一流と言われる人たちは、最初から一流なのでしょう吗? 同じ高校生が10数年の間に差が開くのは、持って生まれた素質の違いだけなのでしょう吗? 一度でも本当に命懸けの努力をしたことがあるのでしょうか? 目標は大きいけれど、最善の努力をしてきたかを真剣に考えて欲しいと思います。最大限の努力をしていないのに、「出来ません 無理です」と言う中途半端な自分とそろそろお別れしませんか?

真の勝者になれる人は 無理を超えたところで何かができ、それを楽しめる人、無理という壁を乗り越えなければ『楽』は味わえないし、『強さ』は獲得できない!! 信念を貫き徹すには、自分に妥協しないこと!!

今年一年、大変お世話になりました。来年も宜しくお願いします。